



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月25日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6210 URL <http://www.toyo-mm.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)片山 三太郎
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役常務取締役管理本部長 (氏名)二見 泰博 TEL (078) 942- 2345
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,131	7.6	610	81.4	610	97.0	440	82.0
24年3月期第2四半期	9,412	6.9	336	1.7	309	△6.4	242	△22.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 462百万円(92.1%) 24年3月期第2四半期 241百万円(△18.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	21	38	—	—
24年3月期第2四半期	11	75	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,438	49.5	9,208	49.5	—	—
24年3月期	17,532	49.8	8,807	49.8	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,126百万円 24年3月期 8,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	1 00	—	3 00	4 00
25年3月期	—	—	2 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※25年3月期の期末配当予想につきましては、未定でございます。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	19,000	△5.5	800	△15.2	810	△15.9	680	△26.6	32	99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	20,703,000株	24年3月期	20,703,000株
25年3月期2Q	88,548株	24年3月期	88,428株
25年3月期2Q	20,614,525株	24年3月期2Q	20,614,744株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・平成25年3月期の期末配当予想につきましては、業績の状況を見極め中であり、現時点で未定のため開示しておりません。配当予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月～平成24年9月）においては、欧州での景気失速に加え、中国やインド等の新興国における経済成長率の鈍化が鮮明となりました。一方、国内では一部に復興需要等がありましたが、円高やデフレが長期にわたり、景気の低迷が続きました。当社グループの関連する市場におきましては、自動車産業等で引き続き設備投資が回復基調にあり、国内外ともに堅調な需要がありました。しかしながら、円高や新興国における景気減速の影響を受けて、海外での需要は後半にかけて急速に減少しました。

このような状況下で、当社製品の需要は、主に中国でのIT・電子機器関連が低調であり、欧州向けも減少しました。一方、国内・海外ともに自動車関連が増加し、生活関連用品向けも堅調でした。

[射出成形機]

射出成形機につきましては、業界全体の受注が6月以降大幅に減少しました。特に、中国及びその他のアジア地域におけるIT・電子機器関連向けの小型機の需要が低調に推移しました。一方、国内・海外市場ともに自動車関連や生活関連用品向けは堅調な需要がありました。

[ダイカストマシン]

ダイカストマシンにつきましては、自動車関連は国内・海外市場ともに堅調な需要がありました。しかし、電子部品等向けの小型機の需要が、昨年度後半のタイ洪水による一時的な復旧需要増の反動もあって減少し、受注は低調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は、前年同四半期比4.0%増の96億8千2百万円となりました。また、売上高は、前年同四半期比7.6%増の101億3千1百万円となりました。

従って、当第2四半期連結累計期間における損益につきましては、円高や業界内での海外生産の拡大等により価格競争が一層厳しくなりましたが、売上高の増加やコストの低減等に取組みました結果、営業利益は6億1千万円、経常利益は6億1千万円、四半期純利益は4億4千万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10億8千9百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金の増加10億5千5百万円及び受取手形及び売掛金の増加6千8百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億8千3百万円減少いたしました。これは、主に減価償却等による有形固定資産の減少1億6千6百万円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5億8千8百万円増加いたしました。これは、主に短期借入金の増加9億5千万円及び支払手形及び買掛金の減少4億6百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8千3百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替による減少1億2千2百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億1百万円増加いたしました。これは、主に四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加3億7千8百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期見通しにつきましては、海外では欧州での景気低迷が続く、米国ではいわゆる「財政の崖」問題を抱え、新興国でも景気減速の懸念が深まるなど、厳しい経済情勢が続くと予想されます。また、国内経済においても円の高止まりによる輸出環境の悪化が拡大し、復興需要が期待できるものの、景気の先行きは予断を許さない状況です。当社製品の市場環境は、国内では、エコカー補助金の終了や中国向け輸出の不振等で自動車関連の需要が先行き不透明となります。一方、海外では、自動車関連や生活関連用品向けの需要は堅調であり、スマートフォン等の電子機器関連の需要回復も期待されますが、欧米での需要低迷に加え、最大市場の中国では事業リスクが懸念されます。

引き続き、海外への生産シフト需要の取込みや新市場の開拓等による受注・売上の確保及びコスト低減による業績改善に努めます。

第2四半期連結累計期間及び連結会計年度の業績予想につきましては、平成24年10月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,830,285	3,885,806
受取手形及び売掛金	6,467,202	6,535,315
商品及び製品	1,856,491	2,006,087
仕掛品	1,161,949	1,107,670
原材料及び貯蔵品	427,323	337,066
繰延税金資産	25,047	28,914
その他	241,259	195,767
貸倒引当金	△15,048	△12,505
流動資産合計	12,994,512	14,084,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,148,730	2,091,370
機械装置及び運搬具（純額）	922,666	840,557
工具、器具及び備品（純額）	123,691	101,029
土地	814,347	814,347
リース資産（純額）	21,242	17,004
有形固定資産合計	4,030,678	3,864,309
無形固定資産	230,177	227,037
投資その他の資産		
投資有価証券	161,084	155,724
繰延税金資産	68,541	71,776
その他	88,740	76,830
貸倒引当金	△41,493	△41,416
投資その他の資産合計	276,873	262,915
固定資産合計	4,537,729	4,354,262
資産合計	17,532,241	18,438,385

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,861,193	3,455,089
短期借入金	1,350,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	418,000	331,000
未払費用	495,882	481,806
未払法人税等	147,413	143,928
未払消費税等	12,837	12,844
繰延税金負債	4,901	3,493
製品保証引当金	26,140	39,519
役員賞与引当金	25,000	11,600
その他	421,167	571,671
流動負債合計	6,762,535	7,350,954
固定負債		
長期借入金	122,000	—
繰延税金負債	280,638	277,785
退職給付引当金	1,509,439	1,559,213
その他	50,356	42,137
固定負債合計	1,962,434	1,879,136
負債合計	8,724,970	9,230,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,506,512	2,506,512
資本剰余金	2,028,834	2,028,834
利益剰余金	4,401,156	4,780,122
自己株式	△48,231	△48,256
株主資本合計	8,888,272	9,267,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,060	8,806
為替換算調整勘定	△164,701	△149,118
その他の包括利益累計額合計	△151,641	△140,312
少数株主持分	70,640	81,393
純資産合計	8,807,271	9,208,294
負債純資産合計	17,532,241	18,438,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,412,448	10,131,234
売上原価	7,213,421	7,464,611
売上総利益	2,199,026	2,666,622
販売費及び一般管理費	1,862,560	2,056,312
営業利益	336,465	610,310
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,003	2,131
固定資産賃貸料	41,361	38,151
その他	5,892	12,164
営業外収益合計	49,257	52,446
営業外費用		
支払利息	12,027	12,227
手形売却損	4,324	1,832
固定資産除却損	2,840	11,758
固定資産賃貸費用	4,253	4,161
為替差損	40,807	16,551
その他	11,845	6,113
営業外費用合計	76,098	52,644
経常利益	309,625	610,112
税金等調整前四半期純利益	309,625	610,112
法人税、住民税及び事業税	63,614	169,957
法人税等調整額	△1,954	△10,255
法人税等合計	61,659	159,702
少数株主損益調整前四半期純利益	247,965	450,409
少数株主利益	5,766	9,600
四半期純利益	242,199	440,809

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	247,965	450,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,170	△4,253
為替換算調整勘定	5,210	16,736
その他の包括利益合計	△6,960	12,482
四半期包括利益	241,005	462,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,050	452,138
少数株主に係る四半期包括利益	3,955	10,753

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。